

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

冬春イチゴ育苗期のアブラムシ類防除の徹底について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第4号を発表したので送付します。

技術情報第4号

1 作物名：冬春イチゴ（育苗期）

2 病虫害名：アブラムシ類

3 発生状況

7月5半旬に県下14か所の育苗床の苗を調査した結果、アブラムシ類の寄生株率および発生ほ場率ともに平年・前年より高かった（図）。

- ・寄生株率 6.6% (平年 2.7%、前年 1.9%)
- ・発生ほ場率 57.1% (平年 28.1%、前年 21.4%)

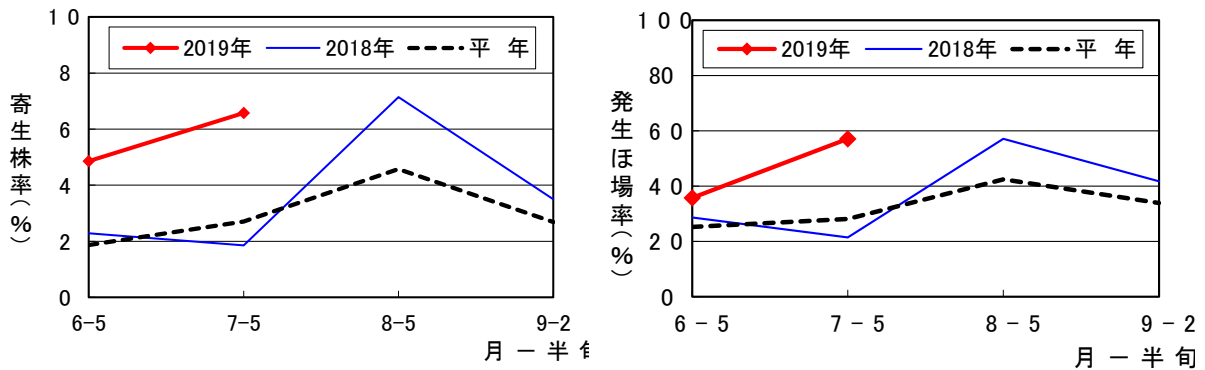


図 イチゴ（育苗期）におけるアブラムシ類の発生推移

4 防除上注意すべき事項

- (1) 育苗床や本ほ周辺の除草を行うなど、アブラムシ類の発生源となるものは除去する。
- (2) 本ほで多発すると、果実等に寄生し排泄物による汚れを生じるため、生産性が著しく低下する恐れがある。また、本ほでは、天敵やミツバチを導入すると使用できる薬剤が限られるため、育苗期の防除を徹底し、特に、夜冷短日処理前や低温暗黒処理前、定植前に防除を行い、本ほへ持ち込まないようにする。
- (3) 薬剤感受性の低下を防止する観点から、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 若い葉の裏や未展開葉に寄生していることが多いため、寄生部位に薬剤が届くように薬剤はムラなく散布するよう心がける。

福岡県病害虫防除所ではQRコードを作成しています。携帯電話のQRコードリーダーでスキャンして頂くと、病害虫防除所ホームページに簡単にアクセスできますので、御利用下さい。

